



学校だより

梨の花



市川市立稲荷木小学校

HP QR コード



令和 7 年 6 月 30 日 第 4 号



「やさしく・かしこく・たくましく」

～子どもが夢を持ち、仲間と共に未来を切り拓く力を育む学校～

『家庭学習』の習慣は 一生もの

いよいよ夏本番をむかえる頃となりました。梅雨の合間の晴れた日には、プールから子どもたちの元気な声が聞こえてきます。6月21日に実施した土曜参観では、多くの保護者の方々がご参観くださり、ありがとうございました。授業参観は、学校でのお子さんの様子はもちろんのこと、何をどのように学んでいるか、また、学校の雰囲気や学習環境などについて、保護者や地域の皆様に知っていただく大切な機会と考えております。これからも皆様の参観をお待ちしております。

さて、今月は私自身の子どもの頃の体験をもとに、『家庭学習』のお話をさせていただきます。小学2年生のころ、当時の担任の先生は私たちに宿題も出しましたが、「自分で考えて、自由勉強をしておいで。計算でも漢字でもいいし、自分が調べたいと思って調べたことでもいいよ。」と、『自学』と呼んでいる取組みを勧めてくださいました。そして、自由勉強帳（ノート）に学習してきたページ数や内容に応じて、『たいへんよくできました』や『よくできました』などのスタンプを押してくれ、スタンプの種類に応じた枚数のシールを教室の壁の模造紙大のクラス名簿一覧の自分の名前のところにシールを貼っていきました。自由勉強をよくやって来ている子と、そうでない子がシールの数でわかる方式です。（今の時代には、そぐいません）私はその先生の方式に見事にはまり、「ライバルの〇〇さんに負けまい。」とシールの数勝負で、一進一退の攻防の日々が続きました。内容は決してほめられたものではなかったと思いますが、ページ数を稼いで一つでも多くのスタンプをもらうことに専念していました。ある日、教室で担任の先生が私を呼び、「ねえみんな、〇〇さんは自由勉強、毎日がんばっていてえらいよ。」とほめてくださいました。そのことで私はさらに気を良くし、自由勉強に力を注ぎました。3年生の時の担任の先生も、自由勉強を勧めてくださる先生で、私の自由勉強癖はさらに進んでいき、内容面も少しではありましたが、良くなっていったように思います。シールの数を競うという動機でしたが、小学生の時に身に付いた自分から机に向かう習慣は、中学校、高校までとても良い影響をもたらしてくれました。今でも小学校の先生方には、感謝の気持ちでいっぱいです。稲荷木小学校でも、『自学』を勧めています。内容については、子どもたち自身で考えて行うことに意義があるのですが、下に例を示しておきます。ご家庭で参考にいただき、子どもたちに『自学』をぜひ勧めてあげてください。これからは自分で自分の得意なことや苦手なことがわかり、課題を乗り越えていく力が、これまで以上に求められる時代になっていきます。

- ・授業の予習（学習内容を知り、学習のめあてを立ててくる程度）
- ・漢字や計算練習
- ・テストで間違えた問題に再チャレンジ
- ・本を読んだ感想を書く
- ・復習
- ・自分の得意なスポーツや興味のあることを詳しく調べ、まとめる
- ・漢検や英検合格をめざし、自学でその日にやることを決める

いよいよ夏休みを迎えます！

～ 子どもたちにとって「安全で・楽しく・有意義な」夏休みにしたい～

7月19日から夏季休業に入ります。夏休みを迎える会では、子供たちに2つの約束ということでお話をさせていただきます。

1. 命を無くさないこと

一つ目は、「どんなことがあっても、命を無くさないということ」です。楽しい夏休みですが、毎年のように、小学生の子どもが事故で亡くなる、命を失うというニュースが流れます。海や川での水の事故、交通事故、不審者による事件、火事、など様々です。とても悲しいことです。皆さん、絶対に命を無くしてはいけません！

2. 何かを頑張ること、じっくり取り組むこと

二つ目は、「長い休みを利用して、何かを頑張る、じっくり何かに取り組むこと」です。せっかくの夏休みです。1つでもいい、そんなに難しいことじゃなくていいから、長い休みだからこそできる何かにチャレンジしてほしいです。例えば・・・、ラジオ体操、漢字や計算の練習、おうちの手伝い、ペットの世話、食器洗い、社会体育や習い事、小さい弟や妹の世話、作品づくり、リコーダーや鍵盤ハーモニカの練習、理科の自由研究、絵日記、など様々なことが考えられます。ぜひ、何かに取り組んでほしいと思います。

※夏休みは、家庭や地域で過ごす時間が多くなります。安全で楽しい夏休みにするためにも、ご家庭で、ぜひ夏休みの過ごし方について話題に取り上げて話し合っていたきたいと思います。

「1. 命を無くさないこと」については、言うまでもありません。これまで全国のあちからこちらで起きた事件や事故は、ある日突然発生したものであり、誰もそうなろうと思ってなかったわけではありません。そして起きてしまったら、もう取り返しがつきません。何度悔やんでも、元には戻せないのです。そんな悲しい事故や事件に、絶対巻き込まれてはなりません。子どもたちの安全確保について、大人の私たちが今一度強く意識を持ちたいと思います。

「2. 頑張ること・取り組むこと」については、子ども本人に宣言させるのがよいと思います。有言実行です。もちろん、夏休みの途中で、変更することも有りだと思います。例えば、「(家事の)お手伝い」ではなく、「あなたの仕事」と位置づけるのはどうでしょう。簡単に思えることでも、「続けることの難しさ・大切さ」を学ばせるチャンスです。

◆教育相談について 9月～12月

○スクールカウンセラーによる教育相談

・山田 由理子(やまだ ゆりこ)

相談時間 10:00～17:00

出勤日(月2回) 9月2日(火) 9月16日(火) 10月2日(火) 10月21日(火)
11月19日(水) 11月25日(火) 12月16日(火)

※お子様のこと子育ての事など悩みごとの相談がありましたら、相談予約の窓口は教頭になります。

教頭 倉田(稲荷木小376-5961)までご連絡ください。

◆7月ゆとろぎ開設日について

開設日：7月1日(火) 7月4日(金) 7月8日(火)
7月9日(水) 7月11日(金) 7月15日(火)

